

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	25206
----------	-------

1. 開設大学	安田女子大学 家政学部	開講場所 (キャンパス・施設)	本学
2. 科目名	建築とデザイン		
	学問分野	番号	名称
3. 担当教員	藤本和男、前田紀貞		
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 31 年 8 月 7 日 (水) ~ 平成 31 年 8 月 7 日 (水) 1 回目 10 時 30 分~12 時 10 分、2 回目 13 時 00 分~14 時 30 分 (90 分×2 回)		
個別開講日	1 回目 8/7	2 回目 8/7	3 回目 /
	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /
	7 回目 /	8 回目 /	9 回目 /
	10 回目 /	11 回目 /	12 回目 /
5. 募集定員	30 人		
6. 科目内容・ 授業計画	<p>1 回目 「世界のまちと建築」 藤本和男教授 現代の暮らし方は世代を超えて多様化し、まちの景観は、地域の歴史や生活や文化を反映した様々な表情を見せています。そこには、私たちの生活と建築や空間とのあいだの密接な関係が読み取れます。 そこで、私たちが気持ちよく安心して住める家やまちは、どのようなものであれば良いのかを考えるため、様々な街並みや家のスタイルについて事例紹介しながら世界のまちと建築の有り様を学びます</p> <p>2 回目 「物を創るということ」 前田紀貞教授 一般的には、建築の設計をする設計者には、特別なデザインの訓練が必要だろうと思われています。言い換えれば、設計者のポケットの中には沢山の訓練の賜物の結果手にされた「デザイン手法」が沢山詰まっているのだろう、と思われている、ということです。 ところが不思議なことに、真の意味で物を創ろうとしたとき本当に大切なことというのは、設計者自身が「創ろうとしないこと」なのです。 これは一見とても矛盾したことのように思うかもしれませんが、創る立場の設計者が敢えて「創ろうとしない」という気持ちで事に当たってみると、逆にそういう時にこそ実は、自分のポケットの中に入っていなかった筈の「デザイン手法」が打ち出の小づちの様に湧いてくることに気づきます。 物創りの秘訣というのは、実はこういう所にあるのです。 それがどんなことなのかについて、簡単な言葉でお話致します。</p>		
7. 受講料	無料		
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) 無料		
9. 開講条件※1 あり (ない)	<p>① 最少開講人数 () 人 定員超過の不許可は選考により決定</p> <p>② 不許可・不開講通知日 (7月12日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月13日(土)以降の開講科目は6月末まで)</p>		
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 女子に限る		
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。		

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。